

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	九州マツダ 貴船店 新築工事	階数	地上1F
建設地	小倉北区貴船町2番1	構造	S造
用途地域	商業地域、第1種住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	131 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,024 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年10月17日
敷地面積	4,103 m ²	作成者	臼井 千尋
建築面積	2,373 m ²	確認日	2016年10月17日
延床面積	2,220 m ²	確認者	定森 淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安を示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>LED照明の採用等で省エネルギー性能に配慮。 室内環境、サービス性能、節水に配慮。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材、天井裏等の材料はF☆☆☆☆を使用し、負圧の喫煙室を設けるなど、空気質環境に配慮。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い材料を採用。 空間にゆとりのある設計。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>省スペースながらも、植栽の配置に努め、またピロティ・庇の設計で敷地内環境に配慮。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用、ハイサイドライトの自然利用で省エネルギーに努める。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上材等が容易に分別、解体可能な計画。 節水コマ及び省水型機器の採用でCO2削減に配慮。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器を使用せず、省エネルギーに配慮。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される